

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 6 区分

【発行日】平成22年5月20日(2010.5.20)

【公表番号】特表2009-532292(P2009-532292A)

【公表日】平成21年9月10日(2009.9.10)

【年通号数】公開・登録公報2009-036

【出願番号】特願2009-503679(P2009-503679)

【国際特許分類】

B 6 5 B 59/04 (2006.01)

B 6 5 B 55/02 (2006.01)

【F I】

B 6 5 B 59/04

B 6 5 B 55/02 Z

【手続補正書】

【提出日】平成22年4月2日(2010.4.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

動作機械（４、５）と取外可能に関連可能な要素（５０、６０、７０）を移送及び移動させる装置（１）であって、

前記要素（５０、６０、７０）を受容し支持するのに適した移動手段（２０、２１、２２）を備え、

該移動手段（２０、２１、２２）を、前記要素（５０、６０、７０）を前記動作機械（４、５）へ移送及び／又は前記動作機械（４、５）から除去するよう、可動にし、

該装置は、第１キャリッジ手段（２）と、

第１キャリッジ手段（２）を受容し支持するのに適した第２キャリッジ手段（３）と、を更に備えたこと、を特徴とする装置。

【請求項 2】

前記第１キャリッジ手段（２）には支持フレーム（２５）を設けており、該フレームには車輪（２６）を設け、該支持フレーム（２５）は前記移動手段（２０、２１、２２）を摺動可能に支持するのに適すること、を特徴とする請求項 1 に記載の装置。

【請求項 3】

前記移動手段（２０、２１、２２）を、前記装置（１）内に配設される各第 1 動作位置（A、D、F）と、前記装置（１）から要素（５０、６０、７０）を除去及び／又は移送するために部分的に突出する各第 2 動作位置（B、C、E）との間で、可動にすること、を特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の装置。

【請求項 4】

前記第 2 キャリッジ手段（３）は、前記第 1 キャリッジ手段（２）の前記車輪（２６）を受容するのに適したレール（３８）を設けた上部支持面（２７）を、備えること、を特徴とする請求項 2 に記載の装置。

【請求項 5】

前記第 2 キャリッジ手段（３）は、前記第 1 キャリッジ手段（２）を包囲するよう配設された収容手段（９）を、備えること、を特徴とする請求項 4 に記載の装置。

【請求項 6】

前記収容手段（9）は、第1アクセスハッチ（16）及び第2アクセスハッチ（24）を、備えること、を特徴とする請求項5に記載の装置。

【請求項7】

前記第2キャリッジ手段（3）は、前記収容手段（9）の上部に配設され、前記収容手段（9）内で空気流を発生させるのに適した空調手段（10）を備えること、を特徴とする請求項5又は6に記載の装置。

【請求項8】

前記第2キャリッジ手段（3）は、前記第1キャリッジ手段（2）を係着及び固着するのに適した除去手段（19）を備え、

前記除去手段（19）を、前記第1キャリッジ手段（2）を前記第2キャリッジ手段（3）に導入する及び／又は前記第2キャリッジ手段（3）から退出するよう、可動にすること、を特徴とする請求項1乃至7の何れか1項に記載の装置。

【請求項9】

前記装置（1）を前記動作機械（4、5）に、係着位置（G1、G2、G3、G4）で、取外可能に取付けるのに適した接続手段（13）を、備えること、を特徴とする請求項1乃至8の何れかに記載の装置。

【請求項10】

前記接続手段（13）を、前記第1キャリッジ手段（2）と関連させる、又は前記第2キャリッジ手段（3）と関連させること、を特徴とする、請求項9に記載の装置。